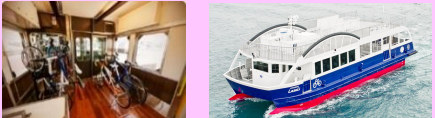


地域における受入環境整備促進事業(交通関係)

令和7年度予算 620百万円の内数
令和6年度補正予算 15,820百万円の内数

○ 訪日外国人旅行者受入環境整備に積極的に取り組む地域において、公共交通機関におけるストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、多言語対応の強化、無料Wi-Fiサービスの提供拡大、キャッシュレス決済の普及等に関する個別の取組を支援する。

交通サービスインバウンド対応支援事業		補助率 3分の1	多言語拡声装置の導入、非常用電源装置、携帯電話充電器等の整備は1/2	事業主体 公共交通事業者等
多言語対応(事故・災害時等を含む)		無料Wi-Fiサービス		
 ・多言語表記等	 ・案内放送の多言語化	 ・タブレット端末、携帯型翻訳機等の整備	 ・多言語バスロケーションシステムの設置	 ・インバウンド対応型鉄軌道車両の導入
トイレの洋式化等		非常時のスマートフォン等の充電環境の確保		
 ・洋式トイレの整備	 ・全国共通ICカードの導入	 ・QRコードやクレジットカード対応、企画乗車船券のICカード化	 ・企画乗車船券の発行	 ・レンタカーのキャッシュレス対応
旅客施設や車両等の移動円滑化(大きな荷物を持ったインバウンド旅客のための機能向上)				
 ・LRTシステムの整備	 ・連節バスの導入	 ・ジャンボタクシーの導入	 ・鉄道車両の荷物置き場の設置	 ・船内座席の個室寝台化
移動そのものを楽しむ取組や新たな観光ニーズへの対応		レンタカーの外国人ドライバー支援		
 ・観光列車	 ・魅力ある観光バス	 ・サイクルトレイン、サイクルシップ	 ・ドライブ支援アプリによる情報提供	 ・専用ステッカーの普及
				バス・タクシードライバーへの外国語接客研修
				 等

※ 上記の他、令和6年度補正から、「地方ゲートウェイの刷新による二次交通への円滑なアクセス環境整備」(補助率1/3)を追加